

学 年
低

おはなしを、いいかんじでかんせいさせよう！

年 くみ 名まえ



☆おはなしの中にでてくる「かんじ」をかいて、おはなしをかんせいさせましょう。

むかしむかし 千年の 大むかし、ある 山に、
 口が赤くて目が青く、手足のながい
 一人の大男がすんでいました。その山
 は、森と林にかこまれていて、春にはいろいろ
 な草花がさきます。それはまるで、お花畑の
 ようでした。大男は、花が大すきで、あさ早く
 から、夕がたの日は、花を見ているま
 した。気がつくとき、あつというまに、百年たつたとさ。

